



新しい時代の問題、マーケティングを使って解決します！

## オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター

Ver.4 第74号

### 「台湾の主張 [新版]」を読みました！



蝉が大合唱する盛夏となりましたが、皆さん、お元気でしょうか。こんな季節にマスクをしないといけないのはキツイですね(苦笑)。さて、今月は「台湾の主張 [新版] (PHP 研究所、¥946、李登輝著)」をご紹介します。

著者は有名人なので、誰でも知っていると思いますが、簡単にご紹介しておきます。台湾(中華民国)の第4代総統。台湾の民主化に尽力された政治家ですが、農業経済学者としての一面を持っています。台湾と同じくらいに日本を愛しているクリスチャンであり、哲人です。

本書はタイトルに「新版」というキーワードがあるように、もともと1999年に発行されたものです。しかし、いま読んでみても古さは感じられません。特に第四章「いま中国に望むこと」を読むと、現在の中国の姿を言い当てていて、まさに「予言書」のように感じます。

これから組織のリーダーになる人の教科書として、本書をお薦めします。既にリーダーとして活動されている方が読むのもOKです。特に意思決定のプロセスは参考になります。この部分だけでも値打ちがあります。

本書は、台湾と著者の過去・現在・未来という流れで構成されています。現在については、第三章が台湾、第四章が中国、第五章がアメリカ、そして第六章は日本について、それぞれ望むことを書いています。そして、第四章「いま中国に望むこと」の最初の小見出しが「中国の二十年後を見据える」なのです。1999年発行ですから、ほぼ今のことになります。例えば…

中国は経済的な生産は上昇しているが、政治的にはいまだに中国共産党の一党独裁体制に支配されている地域であることは変わっていない。少数者の権威主義的かつ独裁的な支配が続いている。そしてまた、中国共産党がその体質を根本的に改革したというわけでは決してない。(P143) つまり、20年後も変わっていないと結論付けています。他にも納得できる論点があるのですが、それは本書をご覧ください。

さて、著者が愛している日本について、次のような一節がありますのでご紹介しましょう。私は、いまだに一生懸命に勉強を続けているが、先に述べたように一番多く読むのが日本の書籍なのである。それはなぜかといえば、日本には非常な深みがあり、それが本の中に集約されているからだ。アメリカの本をもっと読んでいいと思うのだが、私はどうしても日本の本を読書の中心に据えている。(P184) なぜか嬉しいですね(笑)。

序文では、本書が誕生するエピソードが紹介されています。日本に出張する友人(台湾の総合電機メーカー会長)に生原稿を持たせて、出版社に直接手渡していたのです。台湾内部にも功名心から秘密を漏らす人がいると考え、原稿の流出を防ぐための手を打ったわけです。まるでスパイ映画のワンシーンですね！

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター編集部

発行人 奥村政治

〒571-0047 大阪府門真市栄町6番9号 門真プラザ610号

発行日 2021年8月2日

TEL06-6991-9627

Email: info@1project-support.com

https://1project-support.com

Copyright 2021 オクムラ経営コンサルティングオフィス all rights reserved